

◇ ニルの学校 2024年度 第2期 ◇

※第2期は木曜日始まりです。 【4/4(木)～7/24(水)】

月	1		おっかけ古文
	2		おっかけ現国(東大)
火	1		
	2		基礎古文
水	1	東大現国	おっかけ現国(私大)
	2	中級古典S	おっかけ古文
木	1	中級古典S	
	2	私大現国	東大上級(古)
金	1	中級古典S	
	2	東大現国	
土		思考力育成小論文	基礎漢文(6月)

【授業時間】

古文・現国・漢文 1限：16:40～18:40 2限：19:00～21:00
 思考力育成小論文 14:00～17:00
 基礎漢文(6月) 14:30～16:30

基礎漢文	講座の詳細はP.3をご参照下さい。
東大上級・私大上級	講座の詳細はP.5をご参照下さい。
思考力育成小論文	講座の詳細はP.6をご参照下さい。

※ゴールデンウィーク（4/29～5/3）はお休みさせていただきます。

《 古 典 》

①新規生対象

【おっかけ古文】※新高2生～既卒生対象（春期入会）

本講座は、春期講習から入会し今年の12月の終了を目指す方に受講して頂く講座です。

春期講習「基礎古文」が必修です。もし春期講習を受けられない場合は別途補講がございますので事務までご相談下さい。おっかけ古文では、基礎古文、初級古文、中級古典における学習項目のうち、受験に欠かすことのできない内容を短期間で扱います。早期入会者に追いつくためにやや進みが速くなっているので、短期習熟のための復習が必須となります。この講座を通過することで、夏期講習からの入試対策講座へと十分な実力で合流できることを目指します。

※「おっかけ古文」では開始から1ヶ月後にテストを行います。

【基礎古文】※新高2生以下対象（4月入会）

本講座は、4月から入会して頂き翌年の3月の終了を目指す方に受講して頂く講座です。さらなる学力の定着を図るため、翌年の4月以降は上級の講座を受講して頂くことができます。

第2期には、古典文法の基礎を学びます。あらゆる古典作品を読み解く上での基礎となる講座です。古文に自信のない方はこちらの講座でじっくりと文法を学ぶことをおすすめします。

第3期には「源氏物語」を題材としたニル独自のテキストを使用し、実践・応用力を養成していきます。翌年の第1期には志望校別に入試問題の対策をしていき、一通りのカリキュラムを終了しますが、継続して2年目の方が受講する上級クラスで引き続き入試問題対策をすることができます。

入会時期	春期	第2期 (4月～7月)	…	第3期 (9月～12月)	…	第1期 (1月～3月)	…	第2期・第3期 (4月～12月)
9月入会 1月入会	必修講座	中級古典	→	志望校別 対策講座	→ 継続 or 終了	上級 (継続する方のた めの講座)	→	上級 (継続する方の ための講座)
春期入会	基礎古文	おっかけ古文	↗ 合流					
4月入会		基礎古文	→	中級古典	→	志望校別 対策講座	↗ 合流 or 終了	

《 古 典 》

②継続生 (春期講習以前に基礎古文を受講) 対象

【中級古典S】

第1期(1～3月)に基礎古文／初級古文、春期に源氏物語(玉鬘)／(名場面)を受講している生徒対象。

※第1期末の実力テストの結果次第では中級古文クラスの受講をおすすめする場合もございます。この講座では、最高難度の「源氏物語」オリジナルテキストを使用します。「源氏物語」は「竹取物語」や「落窪物語」とは異なり、よりいっそう主語がわかりにくくなっているため、正確に読んでいくには「基礎古文」で学習した文法事項を使いこなしていく必要があります。毎回の授業で源氏物語を読む事によって基礎文法を使いこなす力が養われ入試に必要な学力が身に付きます。

また、「源氏物語」を学ぶことによって、入試に必要な古典常識を学ぶことができます。

授業では漢文の指導も行うので、効率よく漢文を学習していけるよう、なるべく春期講習で「基礎漢文」を受講して下さい。

※この講座は3月末のテストの結果、それぞれのクラスの希望者全員が基準点に達しなかった場合にはそのクラスは中級古典Sではなく中級古文になります。

【中級古文】

テキストは源氏物語を扱いますが、中級古典Sより丁寧な指導を行い、古文の基礎知識の徹底を目指します。漢文は取り扱いませんが、第3期(9～12月)以降の漢文の指導にも対応できるよう基礎となる古文の力を養っていきます。

※この講座は3月末のテストの結果によって設置されます。

【基礎漢文】

漢文読解の原則は、「一字一字を品詞として見ること」です。これを徹底することなしに漢文を正確に読む事は出来ません。本講座では、漢文読解の基礎を丁寧に指導し、ニルのオリジナルテキストと難関大学の過去問を扱いながら4日間で今後の学習指針を得る事を目標としています。

基礎古文で学習した内容を応用し、漢文を正確に読解する技を基礎からじっくり学習します。

○対象者 ※基礎古文を既に受講している生徒

基礎古文履修者で、「基礎漢文」の受講が**必修**となるのは以下の方々です。

- ① 入試科目に漢文がある方(東大・私大・大学入学共通テストで漢文が必要な方)
- ② 第3期に「東大古典」「私大古典S」「私大古典」を受講する方
- ③ 夏期講習に漢文を扱う講座の受講を希望する方

※第2期の「中級古典S」にて漢文を扱うため、春期講習での受講をお勧めします。

○基礎漢文の日程

第2期(4-7月)	(6月): 土曜17:20～19:20 6/1, 8, 15, 22
-----------	------------------------------------

《 現 国 》

①新規生 (春期講習で基礎現国を受講) 対象

継続生 (テストで一定の点数に達しなかった方) 対象 (※下記注意参照)

【おっかけ現国】

春期講習「基礎現国」が必修です。もし春期講習を受講できない場合は事務までご相談下さい。5月までおっかけ現国を受けた後、6月から東大志望者は「東大特講」受講後に東大現国クラスに合流、私大志望者は私大現国クラスに合流して頂きます。

おっかけ現国では、基礎現国及び初級現国における学習項目のうち、受験に欠かすことのできない内容を短期間で扱います。早期入会者に追いつくために進みが速くなっているため、短期習熟のための復習が必須となります。この講座を通過することで、私大現国クラス、東大現国クラスへと十分な実力で合流できることを目指します。

※おっかけ現国 (東大) は、6月から東大現国と同内容の講座になりますので、東大志望者は継続して受けて頂き、私大志望者は私大現国に移って頂きます。

※おっかけ現国 (私大) は、6月から私大現国と同内容の講座になりますので、私大志望者は継続して受けて頂き、東大志望者は東大現国に移って頂きます。

※継続生 (春期講習より前から現国を受講している方) についても、3月実施のクラス分けテストで点数が一定のレベルに達しない場合、おっかけ現国に移って頂きます。

②継続生対象

【東大現国】

東大の過去問を中心に東大型の記述問題を扱う講座です。今まで学んだ読解のポイントを確認しながら、より難易度の高い問題を扱って国内最高レベルの記述問題を実感していただきます。

第2期では、記述問題の解答は1つしか存在し得ないことを理解した上で、設問の要求を把握してからその解答に至るまでのプロセスを身につけることを目指します。

《①解法の習得 ②背景知識の獲得 ③記述力の向上》

《①について》これは東大現国と名のつく講座の必須事項でしょう。東大の現国の設問は引かれた傍線に対して「どういうことか」あるいは「なぜか」と問うシンプルなものばかりです。評論文という文章が本質的には言い換えと理由説明で構成されていることを踏まえた的確な問題設定です。本講座では「どういうことか」と問う傍線部説明、「なぜか」と問う理由説明の双方において、東大の現国特有の解法をお教えます(加えて100字以上の長い記述問題も扱います)。その必須事項が不思議なこと一般の参考書には書かれていないからこそ、ニルで学ぶ価値があります。

《②について》東大の問題では、非常に内容の難しいテーマが扱われることがあり、そのテーマについての知識を持っているか否かで読解に差が生じるのは必然です。こういった事情に配慮し、入試前に知っておきたい背景知識を紹介します。

《③について》現状として99%の高校生には日本語の記述力が不足しています。英語において和訳問題の平均点が極端に低いのはその結果でもありますが、このことは自分で書いた答案を第三者に評価されるほど明らかになります。そのために本講座では6月以降、希望者に対して**添削指導**を行い(有料)、生徒一人一人が自分にとって有用なアドバイスを受け取ることができる機会を設けております。

《 現 国 ・ 上 級 国 語 》

【私大現国】

難関私大の過去問を中心に、私大型の択一問題を扱います。今までに学んだ読解及び解答のポイントを復習しながら、選択肢を効率良く正確に分析し、答えを導くプロセスを徹底的に演習します。特に、長文・難解な課題文の扱い方や、文脈に惑わされない傍線部及び選択肢の分析方法を習得することにより、いかなるタイプの問題にも適応可能な状態に仕上げていきます。さらに、良質な文章に触れ、その背景知識を解説することにより、入試頻出のテーマに関する知識を深めます。

【東大上級・私大上級】

※2023年第3期（9～12月）までに以下の授業を受講していた生徒対象。

《古典》昨年7月までの中級古典S・中級古文、もしくは12月までの志望校別講座（東大古典・私大古典Sなど）を受講された方

《現国》昨年7月まで、もしくは12月までの志望校別講座（東大現国・私大現国など）を受講された方

※対象者にあてはまるか分からない場合は、事務までお問い合わせ下さい。

ニルの1年間のカリキュラムを終えた在校生・既卒生を対象とした講座です。

本講座では、ニルで学んだ重要事項を適宜復習しながら、さらなる発展的な内容も扱うことで、基礎力と応用力の双方を鍛えることを目的としています。市販の問題集には不満が残るという方も、ニルの方法論を再確認してそれを実践演習で応用・活用することによって、多種多様な入試問題への対策を獲得・蓄積していきます。

また、古典の授業と現代文の授業が隔週で行われるため、他科目にかける時間とのバランスに十分配慮しながら、国語全般の復習を能率的に進めることができます。入試本番へ向かって、復習と実践の良いペースメーカーとなることでしょう。

※古典のみ、現国のみの受講の場合、授業料が異なりますのでご注意ください。

○日程

東大上級	古典：木曜2限 4/11, 4/25, 5/16, 5/30, 6/13, 6/27, 7/11
	現国：希望者は事務にお問い合わせください。
私大上級	古典・現国ともに希望者は事務にお問い合わせください。

※ゴールデンウィーク（4/29～5/3）はお休みです。

③その他の特講

【東大特講】

おっかけ現国受講者で、6月から東大現国を受講予定の東大志望者は必ず受講して下さい。5月までに東大現国受講者が勉強した内容を、特講でまとめて行います。

※詳細は追ってプリントを配布します。

《 小 論 文 》

【思考力育成小論文】

4～7月、9～12月までの一貫した講座で、「考察力」の養成に重点を置いた授業になります。第2期のこの講座では、まず小論文の書き方の基礎的なマナーや筆者の問題意識を端的にまとめる「読解力」と、言いたいことを論文の形にする「構成力」について学んでいきます。その後は、いきなり実践を重ねるというよりも、まずは思考力・考察力を育てていくため、ディスカッションの時間を多く取り、その上で自身の考えをまとめてもらいます。また、議論を深めていくためにはその材料となる「知識」が必要不可欠となるので、大学入試問題をテキストに現実の諸問題についても多角的に学んでいきます。

※新高3生、既卒生対象のクラスです。

※新高2生で受講をご希望の方は事前に事務までご相談下さい。

○日程 土曜日 14:00～17:00

4/13, 5/4, 5/18, 6/1, 6/15, 6/29, 7/13

《 申 込 要 項 》

新規生	申込受付期間	3/10(日)16:00～
	必要書類	①塾生登録用紙（写真を貼って下さい） ②第2期受講申込書 ③ヒアリングシート（必ず生徒様ご本人がご記入下さい。）
	授業料納入期限	3/22(金)までにお申し込みの場合：申込書提出から銀行営業日の4日以内 3/25(月)以降にお申し込みの場合：申込日の翌銀行営業日の14:00まで
	授業期間	4/4(木)～7/24(木)

継続生	申込受付期間	2/27(火)15:30～
	必要書類	第2期受講申込書
	授業料納入期限	3/22(金)までにお申し込みの場合：申込書提出から銀行営業日の4日以内 3/25(月)以降にお申し込みの場合：申込日の翌銀行営業日の14:00まで
	授業期間	4/4(木)～7/24(木)

《 授業料について 》

【授業料一覧】

	第2期 一括	第2期 分割
1 科目	75,000円	22,000円
2 科目	135,000円	40,000円
小論文	54,500円	16,500円
東大添削	6,000円	3,000円(6,7月)
上級国語(古文、現国両方)	70,000円	22,000円
上級国語(古文or現国のみ)	35,000円	11,000円
基礎漢文	20,000円	
基礎古文教材費	2,500円	

※春期入会の方は一括納入のみになります。

※春期、または4月から入塾された方は、**入会金20,000円**も合わせてお振込下さい。

※基礎古文を受講される方は、基礎古文教材費も合わせてお振込下さい。

※添削は5月30日の週からです。分割の場合は、6月分と合わせて納入して頂きます。

【納入方法について】

・納入には、以下の2通りの方法があります。ご都合の良い方をお選び下さい。

一括納入	1期分まとめてお振込み下さい。 期日の詳細は、P.6の申込要項をご参照下さい。
分割納入	毎月ごとの授業料を前月25日までに振り込み頂く方法です。(下記参照)

【各月納入期限】※分割納入を選択した場合

4月分	申込書提出から銀行営業日4日以内
5月分	4/25(木)
6月分	5/24(金)
7月分	6/25(火)

- * 毎月ごとのお支払い期限について、当塾よりご連絡は致しませんのでご注意ください。
- * 学期の途中での分割から一括納入への変更は認められません。
- * 科目によって一括・分割を分けて振り込むことは出来ません。
- * 生徒様のご事情による期の途中キャンセル・退会の場合、授業料は分割払いの単価で計算し、別途当塾規定の手数料を頂きます。詳しくは事務までお問い合わせ下さい。

【手続きに関するご注意】

- ・お申込みは先着順で受付いたしますので、お申込日によってはご希望にそえない場合もあります。
- ・申込書には、保護者の方の署名・捺印が必要になります。新規生のみ、塾生登録用紙に貼付けるための写真(縦4cm×横3cm)が必要です。
- ・署名や捺印の無いお申込書は受付できませんので、必ずご確認ください。
- ・郵送・FAX・電話での受付や予約は原則としてできません。直接事務受付までお申し込み下さい。
- ・一旦申し込まれた講座のキャンセル・退会等には所定の手数料がかかる場合があります。講座内容やスケジュール等を十分にご理解頂き、別途規約「通塾に際して」をご了承の上、お申込下さい。
- ・申込人数が満たない場合は、閉講の可能性があります。閉講の際は、こちらからご連絡致します。
- ・授業開始日を過ぎてもお申し込みをお受けできる場合がございます。事務までご相談下さい。
- ・やむを得ず途中退会する場合は、必ず退会する月の前月25日までに事務室にご連絡下さい。
25日までに連絡がない場合、翌月の受講料が発生する可能性があります。
- ・震災、台風等休講等がある場合は、HPでお知らせ致します。
- ・何かご不明な点がございましたら、事務までお問い合わせ下さい。

【お振込先】

- ・上記口座宛に、生徒様のお名前でお振込み下さい。保護者等、他の方のお名前で振り込んでしまった場合は、事務までご連絡下さい。
- ・当塾より振込用紙の発行は行っておりません。
- ・振込手数料は、お客様負担とさせていただきます。
- ・お振込時に振込先の記入、入力等が必要な場合には、*をご利用下さい。万が一お振込ができない場合は、お早めにご連絡下さい。

○みずほ銀行 新宿西口支店(普) 1634435

* 有限会社 エイ・エス・エヌ ニルの学舎

○三菱UFJ銀行 渋谷明治通支店(普) 3729495

* 有限会社 エイ・エス・エヌ ニルの学舎

○三井住友銀行 新宿支店(普) 2155042

* 有限会社 エイ・エス・エヌ ニルの学舎

【事務開室時間】

通常授業期間の平日	1/16(火)～3/22(金)	火～金曜日	15:30～21:30
	4/4(木)～7/24(水)	月・水～金曜日	15:30～21:30
		火曜日	18:30～21:30
講習期間	3/25(月)～3/28(木)		9:00～20:00
事務開室日	4/1(月)		13:30～17:30

※上記以外は事務を取り扱っておりませんので、ご注意ください。

※開室時間内でも、授業中などお受けできない場合がございます。ご了承ください。

A.S.N.ニルの学校

☎113-0033 文京区本郷3-4-5 ハイムお茶の水3階B室 TEL:03-6276-7907

※緊急のお知らせがある場合は、HP (<http://www.asnniru.com>)に掲載します。